

## 平成 26 年度 地球環境基金助成事業・県民の環境活動支援事業

## ちば里山カレッジ実施報告書 (5)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	第 5 回講義「森林・里山についての知識の修得 3」
日時	平成 26 年 9 月 20 日 (土)
場所	さわやかちば県民プラザ 中研修室 1
出席者	31 名 (欠席 7 名) 講師 3 名 アシスタント講師 5 名 主催者 2 名 スタッフ 1 名
内容	<p>9:10~10:40 *「都市近郊における里山活動の意義と課題」 講師; 千葉大学大学院園芸学研究科 准教授 柳井重人</p> <p>10:45~12:15 *「里山活動と地域とのかかわり」 講師; NPO 法人しろい環境塾 前理事長 河合 泰</p> <p>13:00~14:30 *「里山・水辺の生き物とその保護」 講師; 自然通信社 田中利勝</p> <p>里山活動団体の紹介「一緒に里山ボランティア活動しませんか!」</p> <p>14:40~15:10 *松戸里やま応援団 講師 代表 高木喜久雄</p> <p>15:10~15:30 *コープみらい八街の森 講師; コープみらい千葉県本部参加とネットワーク推進室 企画課企画推進係長 鈴木典子、 森の応援団担当 福村しづ江</p> <p>15:40~16:00 *特定非営利活動法人手賀沼トラスト 講師 事務局長 富沢 崇</p> <p>16:00~16:20 *ちば千年の森をつくる会 講師 事務局長 伊藤道男</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳井講師による講義 かつての里山は人々と密接なかかわりがあって多様な環境が混在していたが、現在の都市近郊の里山は大規模開発・社会ニーズの変化による管理放棄・生活環境の変化等いろいろな問題を抱えている。 今必要なことは、里山の果たす多面的な働きを見直し、自然・人・地域をつなぐ里山活動に取り組むことであり、活動を通じて人の輪を広げて、地域社会に貢献することである。そして、担い手の発掘と養成へと展開しなければならない。このテーマに基づき松戸市において、大学と行政・企業の協働により取り組んでいる里山活動の紹介があった。しっかりとした基本構想は、これから取り組む活動方針の目標として取り入れたいと思った。</li> <li>・河合講師による講義 しろい環境塾の前理事長として、地域の中で確立してゆく過程の問題点や解決策など、経験の数々を話された。 さらに地元の方々の信頼を得て、現在取り組んでいる農業対策(耕作放棄地の有効利用)は、今後他の地域にも取り入れられる方式だと思う。</li> <li>・田中講師による講義 「里山・水辺の生き物とその保護」についての講義は、絶滅危惧所が増えている現状と、里山ひいては自然の手入れや保全の大切さを説かれた。</li> </ul> <p>里山活動団体の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松戸里山応援団 (里山活動団体連絡会として発足。里やまボランティア団体の交流・連携も活発である。)</li> <li>・コープみらい八街の森 (初めはコープみらいの会員対象であったが、現在はその他の参加も受け入れ里山活動)</li> <li>・手賀沼トラスト (手賀沼周辺の景観や環境を守り人と自然が共生する地域づくりの推進)</li> <li>・ちば千年の森をつくる会 (生物多様性の保全をメインとした超長期の森づくり。豊英島における森づくり活動)</li> </ul>

添付資料（写真）



准教授 柳井重人講師



都市近郊における里山活動



自然・人・地域をつなぐ



河合 泰講師



里山活動と地域とのかかわり



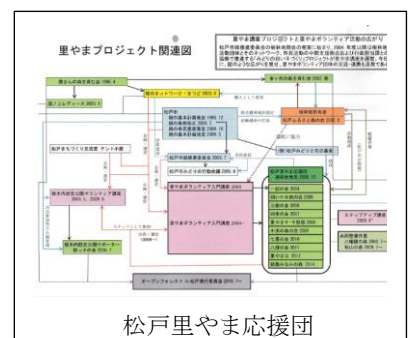
田中利勝講師



里山・水辺の生き物とその保護



高木喜久雄講師



松戸里やま応援団



鈴木典子講師  
福村しづ江講師



竹の除伐



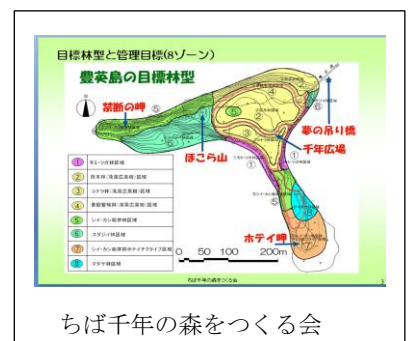
富沢 崇講師



人と自然の共生



伊藤道男講師



ちば千年の森をつくる会